

今期業況天気図

今期業況天気図

期間：令和5年7月～9月（売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較）

全業種総合の天気図は「小雨」で、総合業況DIは▲16と、前期▲20から4ポイントの改善。業種別では、飲食業・サービス業は▲11（前期差13ポイント増）と改善が進んだ。建設業は▲19（前期差1ポイント減）、小売業・卸売業が▲19（前期差1ポイント減）と前期とほぼ変わらず。製造業は▲22（前期差5ポイント減）とやや悪化した。

コスト高と円安の影響が続き、景況の改善は足踏み状況である。一旦改善傾向が止まっていた飲食業・サービス業は、コロナの影響も完全になくなり人の動きも活発になり、改善が進んだ。

| | 全業種 総合 | 製造業 | 建設業 | 小売業 卸売業 | 飲食業 サービス業 |
|----------------|-----------|-----|-----|------------|--------------|
| 売上 | 1 | ▲4 | ▲1 | ▲2 | 6 |
| 採算 | ▲18 | ▲18 | ▲24 | ▲23 | ▲13 |
| 仕入単価 | ▲70 | ▲78 | ▲82 | ▲82 | ▲55 |
| 販売単価 | 19 | 23 | 20 | 38 | 9 |
| 従業員 | 26 | 20 | 41 | 22 | 25 |
| 資金繰り | ▲15 | ▲21 | ▲15 | ▲18 | ▲11 |
| 今期業況 (総合判断) | ▲16 | ▲22 | ▲19 | ▲19 | ▲11 |
| 今期業況 天気図 | | | | | |

| 業況天気図凡例 | | | | | 景気観測調査 |
|--------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|--|
| 快晴 DI値 31以上 | 晴れ DI値 30～11 | 薄曇り DI値 10～▲10 | 小雨 DI値 ▲11～▲30 | 雨 DI値 ▲31以下 | 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。 |

参考) 今期業況天気図の推移

| | 全産業 | 製造業 | 建設業 | 小売業 卸売業 | 飲食業 サービス業 |
|---------------------------|-----|-----|-----|------------|--------------|
| 3四半期前 令和4年10月～ 12月期 | | | | | |
| 2四半期前 令和5年1月～ 3月期 | | | | | |
| 1四半期前 令和5年4月～ 6月期 | | | | | |
| 今期 令和5年7月～ 9月期 | | | | | |

今期業況天気図

今期業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

期間:令和5年7月~9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

小規模事業者のみの全業種総合のDIは▲21(前期差2ポイント増)で天気図は「小雨」。
 飲食業・サービス業は▲16(前期差12ポイント増)で、改善が進む。建設業は▲23(前期差1ポイント増)となり前期から変わっていない。製造業は▲24(前期差5ポイント減)、小売業・卸売業は▲28ポイント(前期差8ポイント減)と若干の悪化であり、長引く円安と物価高の影響を受けているものと推察される。

| | 全業種 総合 | 製造業 | 建設業 | 小売業 卸売業 | 飲食業 サービス業 |
|-------------|-----------|-----|-----|------------|--------------|
| 売上 | ▲8 | ▲10 | ▲5 | ▲19 | ▲3 |
| 採算 | ▲20 | ▲17 | ▲27 | ▲28 | ▲16 |
| 仕入単価 | ▲68 | ▲77 | ▲80 | ▲75 | ▲53 |
| 販売単価 | 12 | 17 | 10 | 26 | 5 |
| 従業員 | 19 | 14 | 38 | 12 | 14 |
| 資金繰り | ▲22 | ▲27 | ▲21 | ▲30 | ▲16 |
| 今期業況(総合判断) | ▲21 | ▲24 | ▲23 | ▲28 | ▲16 |
| 今期業況 天気図 | | | | | |

今期業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

期間:令和5年7月~9月(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・今期業況のDI値は前年同期との比較)

全業種総合のDI値は▲9と前期差1ポイントの悪化で、天気図は「曇り」。建設業は6(前期差2ポイント増)で前期に続きプラス、飲食業・サービス業は▲6(前期差8ポイント増)、小売業・卸売業は▲5(前期差1ポイント増)もDI値がゼロに近づきつつあり、業況は良くなっており、改善が進む。製造業は▲18(前期差10ポイント減)で、再度の減少傾向となっている。

| | 全業種 総合 | 製造業 | 建設業 | 小売業 卸売業 | 飲食業 サービス業 |
|-------------|-----------|-----|-----|------------|--------------|
| 売上 | 14 | 3 | 25 | 23 | 17 |
| 採算 | ▲13 | ▲18 | ▲6 | ▲15 | ▲10 |
| 仕入単価 | ▲72 | ▲80 | ▲94 | ▲93 | ▲58 |
| 販売単価 | 30 | 33 | 75 | 55 | 14 |
| 従業員 | 37 | 29 | 63 | 35 | 39 |
| 資金繰り | ▲5 | ▲12 | 19 | 0 | ▲5 |
| 今期業況(総合判断) | ▲9 | ▲18 | 6 | ▲5 | ▲6 |
| 今期業況 天気図 | | | | | |

| 業況天気図凡例 | | | | | <<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。 |
|--------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|--|
| 快晴 DI値 31以上 | 晴れ DI値 30~11 | 薄曇り DI値 10~▲10 | 小雨 DI値 ▲11~▲30 | 雨 DI値 ▲31以下 | |

次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図

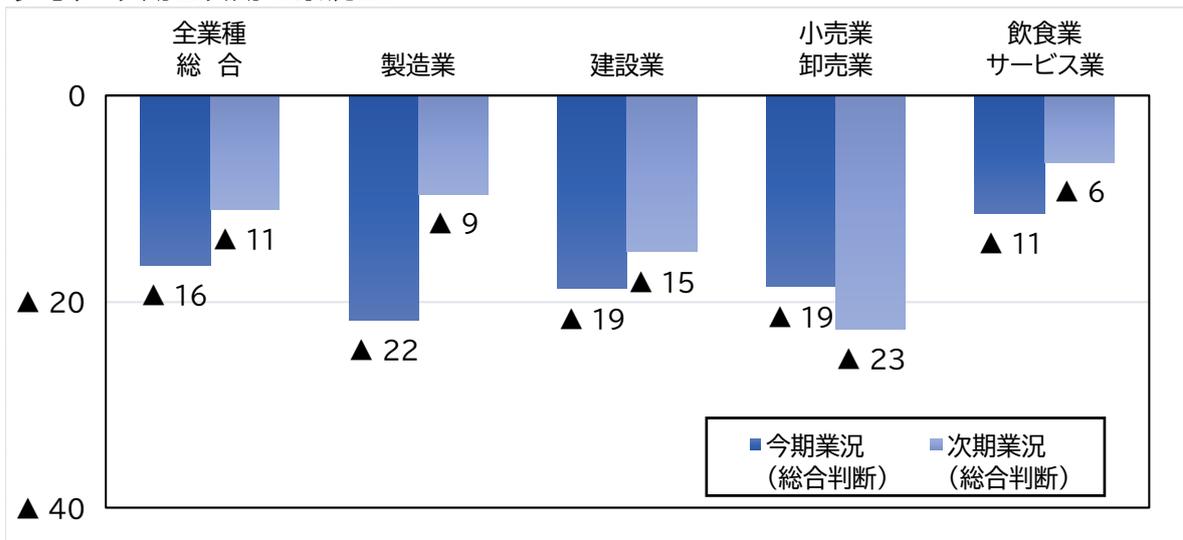
令和5年7月～9月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)

全産業の次期見通しの天気図は、▲11(今期差5ポイント増)で、天気図は「小雨」の見込み。産業別にみると、今期減少した製造業が▲9(今期差13ポイント増)と回復の見込み。飲食業・サービス業は▲6(今期差5ポイント増)と建設業▲15(今期差4ポイント増)は、やや改善するとみられている。小売業・卸売業は▲23(今期差4ポイント減)は、改善が遅れる予想である。改善が進むサービス業と比べ、モノの消費については回復に時間がかかるとみられているようである。

| | 全業種 総合 | 製造業 | 建設業 | 小売業 卸売業 | 飲食業 サービス業 |
|----------------|-----------|-----|-----|------------|--------------|
| 売上 | 2 | ▲1 | 1 | ▲11 | 9 |
| 採算 | ▲9 | ▲10 | ▲13 | ▲24 | ▲2 |
| 仕入単価 | ▲54 | ▲52 | ▲68 | ▲68 | ▲45 |
| 販売単価 | 14 | 13 | 11 | 31 | 10 |
| 従業員 | 25 | 17 | 38 | 23 | 25 |
| 資金繰り | ▲12 | ▲16 | ▲13 | ▲20 | ▲6 |
| 次期業況 (総合判断) | ▲11 | ▲9 | ▲15 | ▲23 | ▲6 |
| 次期業況 天気図 | | | | | |

| 業況天気図凡例 | | | | | <<景気観測調査>> 前年度同時期の景況を比較し、「良い/悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。 |
|--------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|---|
| 快晴 DI値 31以上 | 晴れ DI値 30～11 | 薄曇り DI値 10～▲10 | 小雨 DI値 ▲11～▲30 | 雨 DI値 ▲31以下 | |

参考) 今期と次期の業況DI



次期見通し業況天気図

次期見通し業況天気図(小規模事業者)

(商業・サービス業従業員5名以下、その他の業種20名以下)

令和5年7月～9月見込(売上・採算・資金繰り・仕入単価・販売単価・従業員・次期業況DI値は今期との比較)
 全産業の次期見通しは▲11(今期差10ポイント増)と、改善が進み天気図は「小雨」の見込み。産業別にみると、製造業は▲7(今期差17ポイント増)、飲食業・サービス業は▲2(今期差14ポイント増)と改善が進む見込み。建設業は▲20(今期差3ポイント増)は今期並みの予想。小売業・卸売業は▲32(今期差4ポイント減)は、今期に続き改善が遅れる予想である。

| | 全業種 総合 | 製造業 | 建設業 | 小売業 卸売業 | 飲食業 サービス業 |
|-------------|-----------|-----|-----|------------|--------------|
| 売上 | ▲3 | ▲3 | ▲4 | ▲26 | 6 |
| 採算 | ▲10 | ▲6 | ▲17 | ▲32 | 0 |
| 仕入単価 | ▲54 | ▲57 | ▲68 | ▲63 | ▲41 |
| 販売単価 | 10 | 12 | 2 | 21 | 10 |
| 従業員 | 20 | 13 | 36 | 14 | 16 |
| 資金繰り | ▲16 | ▲18 | ▲19 | ▲37 | ▲5 |
| 次期業況(総合判断) | ▲11 | ▲7 | ▲20 | ▲32 | ▲2 |
| 次期業況 天気図 | | | | | |

次期見通し業況天気図(小規模事業者以外の中小企業)

令和5年7月～9月見込(売上・採算・仕入単価・販売単価・資金繰り・従業員・次期業況DI値は今期との比較)
 全産業の次期見通しの天気図は、▲11(今期差2ポイント減)で、「小雨」の予測。産業別にみると、建設業は13(今期差7ポイント増)と好況が期待され、コロナ後初めて「晴れ」となる見込み。今期改善が遅れた製造業は▲13(今期差5ポイント増)とDIが増加と予想されている。小売業・卸売業は▲10(今期差5ポイント減)、飲食業・サービス業は▲12(今期差6ポイント減)と、やや足踏みすると想定されている。

| | 全業種 総合 | 製造業 | 建設業 | 小売業 卸売業 | 飲食業 サービス業 |
|-------------|-----------|-----|-----|------------|--------------|
| 売上 | 11 | 3 | 31 | 10 | 13 |
| 採算 | ▲9 | ▲16 | 6 | ▲13 | ▲5 |
| 仕入単価 | ▲53 | ▲45 | ▲69 | ▲75 | ▲50 |
| 販売単価 | 20 | 16 | 63 | 45 | 10 |
| 従業員 | 33 | 22 | 50 | 35 | 38 |
| 資金繰り | ▲5 | ▲13 | 19 | 5 | ▲6 |
| 次期業況(総合判断) | ▲11 | ▲13 | 13 | ▲10 | ▲12 |
| 次期業況 天気図 | | | | | |

| 業況天気図凡例 | | | | | <<景気観測調査>> 前年度同時期との景況を比較し、「良い／悪い」などの指標を数値化し景気動向を調査。 「良い」の回答数の割合から「悪い」の回答数の割合を引いて算出した数値(DI値)を用いる。 |
|--------------------|---------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------|--|
| 快晴 DI値 31以上 | 晴れ DI値 30～11 | 薄曇り DI値 10～▲10 | 小雨 DI値 ▲11～▲30 | 雨 DI値 ▲31以下 | |

業況DIの推移

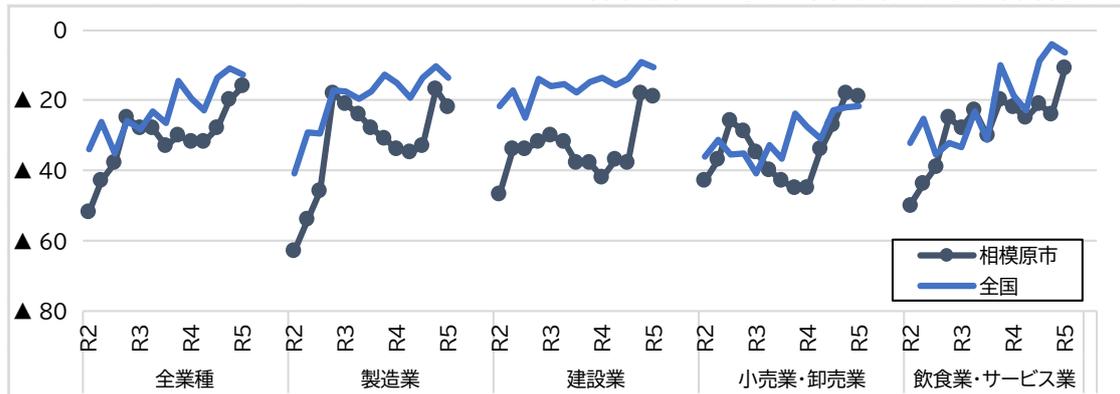
業況DI(前年同期比)の推移

全産業の業況DIは、今期は▲16(前期差4ポイント増)で若干の改善であった。

産業別にみると、飲食業・サービス業は▲11で改善し、製造業は▲22、建設業は▲19、小売業・卸売業は▲19と、足踏み状態である。

全国と比較すると、小売業・卸売業と飲食業・サービス業は全国と同様で、製造業と建設業は急激に回復したが全国よりもやや悪い。

(令和2年7-9月期～令和5年7-9月期、前年同期比)

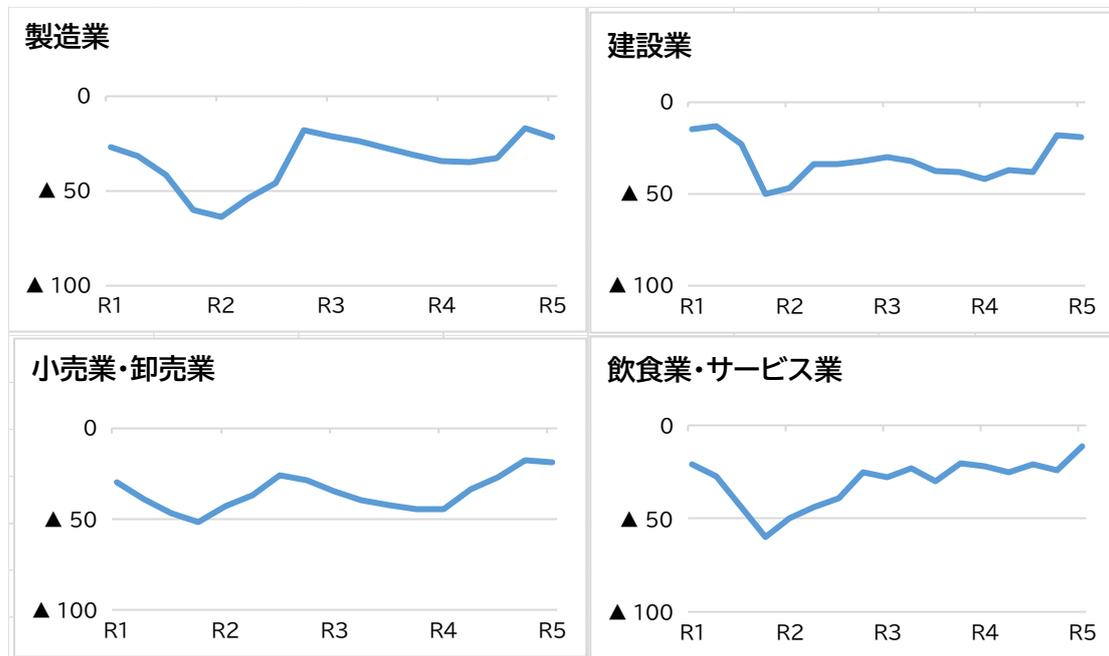


※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「業況判断DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

※業況DIについて、当所では「総合判断」、中小企業庁は「業況(自社)」を質問項目としている

参考)業況DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



業況DI(特徴的なトピックス)

産業別に寄せられた特徴的なトピックスは以下のとおりである。

【製造業】

- ・現在の円安は円安メリットもあるが円安によるデメリットの方が大きい。1ドル110円前後が適切な範囲と思います。【無線機器、オーディオ機器、カラオケ機器、設計、開発、生産(委託)、販売】
- ・受注が増加傾向で、製造が追いつかないため製造能力向上に努めている。設備投資、人員の確保を目指している。【断熱カバーの製造販売取付工事】
- ・人員不足は否めない。大型、大量受注を受けられない。分割して受注しているのが現況。【工業製品塗装】
- ・中国の景気動向の影響を色濃く受けている。【伸銅品製造】

【建設業】

- ・引き合い多く動き出した感。ただ、建設業全体で人員が足りておらず、他社で受けきれない案件が回ってきている感じが強い。建設費は今後も高騰していくと感じる。【管工事業】
- ・受注工事については順調に推移している。作業員の不足で工事自体を辞退している事も多々ある状況です。人手が欲しい状況ですが、なり手がいない状況です。【鉄筋工事業】
- ・上半期は公共工事及び民間工事の受注は確保しているが、下半期以降の受注が減少すると推測される。物価高の影響もあり設備投資の増加が見込まれない。【土木・建築の施工業】
- ・追加工事、増工事が認められないケースが多くを占めた。【建設業、居宅介護支援】

【小売業・卸売業】

- ・Web販売全般において、先だっでのコロナによる一時的な売上げ(巣ごもり特需)は落ち着いてきた傾向にある。従来までの売上ベースに近づいている感じです。【健康食品の小売、卸売】
- ・高額な絵画が売れている。【美術品の売買】
- ・生活用品の値上げ等によりコロナが明けても生活費が増加しているので無駄使いをしない傾向にあるように思います。飲食店等もコロナ前には戻っていないように感じます。【食肉全般】
- ・LPガス、灯油の仕入れが、安定しない。【LPガス、灯油販売、リフォーム】

【飲食業・サービス業】

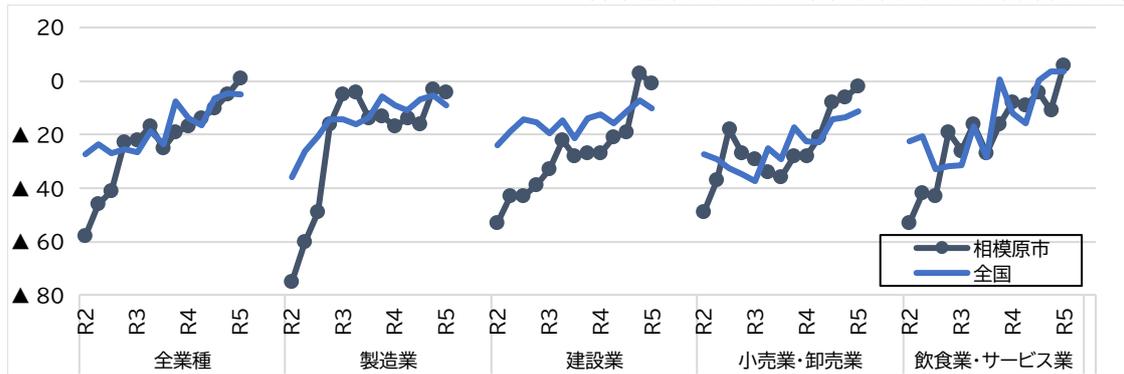
- ・コロナが5類に分類され、外国や観光、祭りなどに出向かう人々が多い為、売上が減少したと思われる。【焼肉、韓国料理】
- ・業界全体に高齢化の波が押し寄せていて、メーカーとサービス工場の整備士不足が深刻であり廃業する工場が増加している。【自動車整備業】
- ・受注は増える予想ですが、最低賃金や物価の値上りで固定費が上がり利益が出るか不安です。受注は増える予想ですが、一時的な物かもしれないので不安があります。【梱包】
- ・物価高により消費控える傾向が強まっている事を実感する。【整体、リラクゼーション業】

売上DIの推移

売上DI(前年同期比)の推移

全産業の売上DIは、1(前期差6ポイント増)と、コロナ後で初めてプラスとなった。産業別にみると、飲食業・サービス業は6で大幅に改善した。小売業・卸売業は▲2、製造業が▲4で前期とほぼ変わらなかった。建設業は▲1でやや下落した。全国と当市を比較すると全産業で全国よりもDIが高くなった。

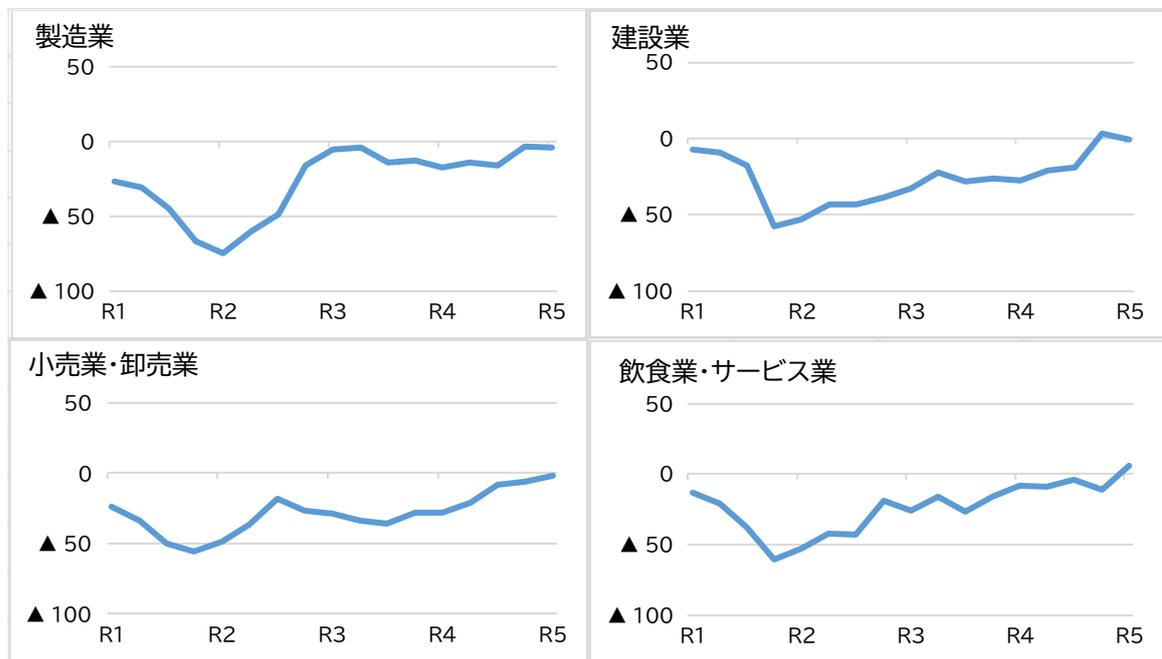
(令和2年7-9月期～令和5年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「売上額DI」を使用。

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 売上DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

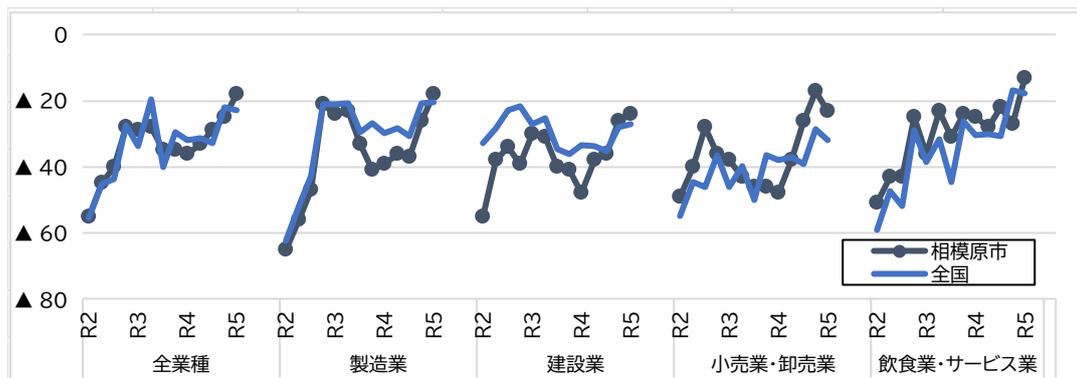


採算DIの推移

採算DI(前年同期比)の推移

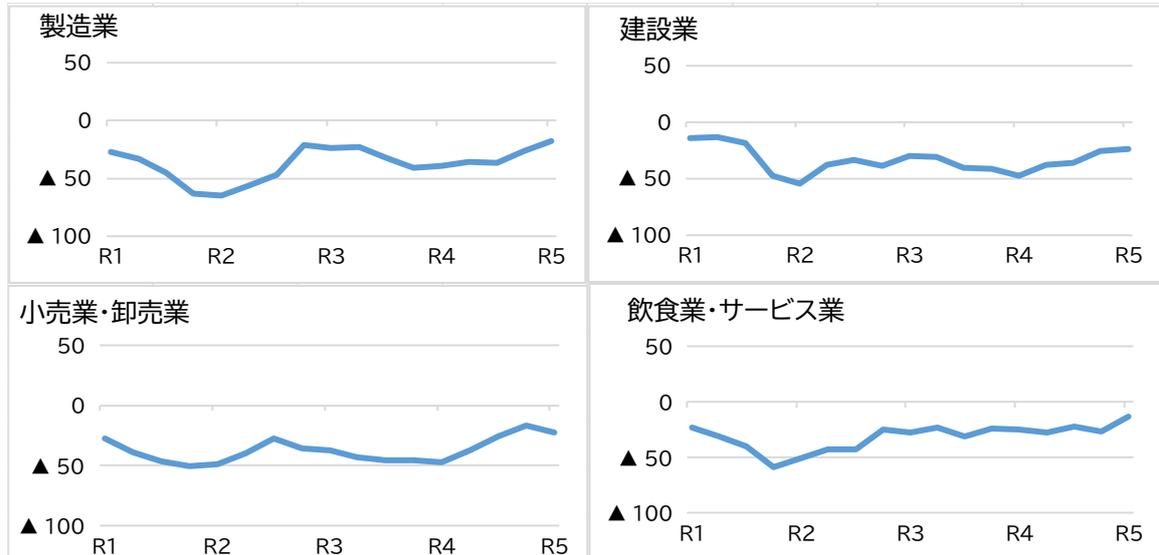
全産業の採算DIは、▲18(前期差7ポイント増)と、若干の改善となった。
 産業別にみると、飲食業・サービス業は▲13、製造業が▲18で改善した。建設業は▲24で前期からほぼ変わらなかった。小売業・卸売業は▲23と若干の悪化であった。
 売上DIはほぼプラスになったが、採算DIはまだマイナスが続く。売上は増えても仕入高やコスト高による支出増加が進んでいることが窺える。
 産業別に今期の数値を全国値と比較すると、全産業において、全国よりも状況が良くなっている。

(令和2年7-9月期～令和5年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※採算DIについて、当所では「採算」、中小企業庁は「経常利益」を質問項目としている

参考) 採算DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



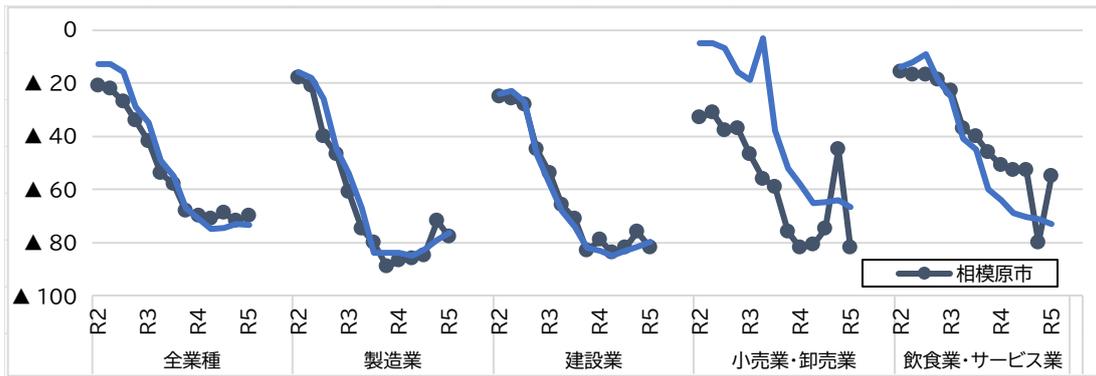
仕入単価DIの推移

仕入単価DI(前年同期比)の推移

全産業の仕入単価DIは▲70(前期差2ポイント増)で、ほぼ変動がなかった。
 産業別にみると、飲食業・サービス業が▲55と大きく改善した。製造業が▲78、建設業は▲82と前期とほぼ変わらなかった。前期に大幅に改善した小売業・卸売業が▲82と悪化した。

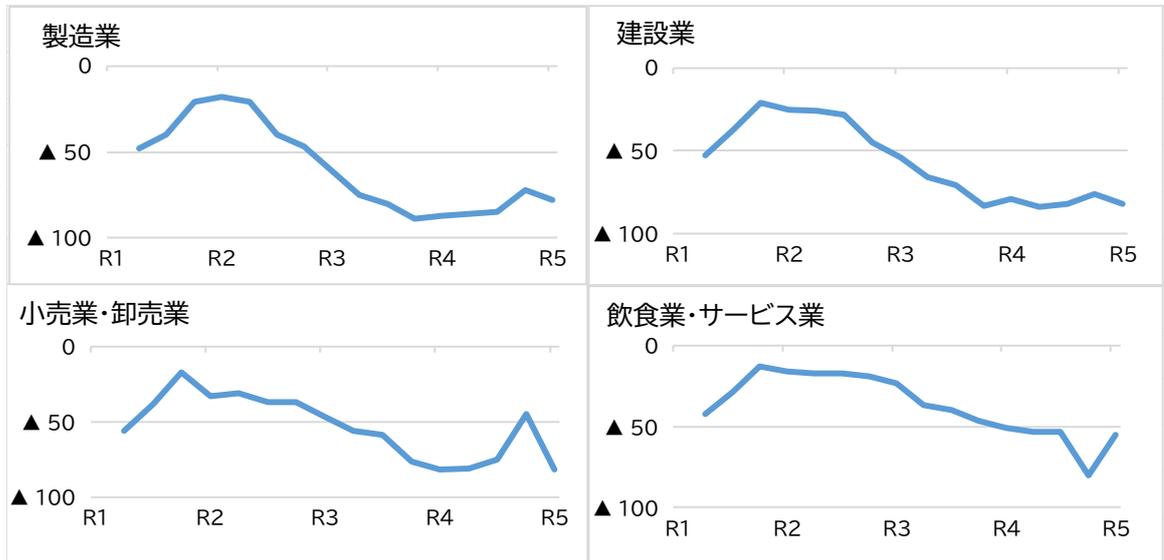
全国と比較すると、小売業は全国より悪く、サービス業は状況が良い。

(令和2年7-9月期～令和5年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「原材料・商品仕入単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※仕入単価DIについて、当所では「DI=下落―上昇、中小企業庁は「上昇―低下」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 仕入単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

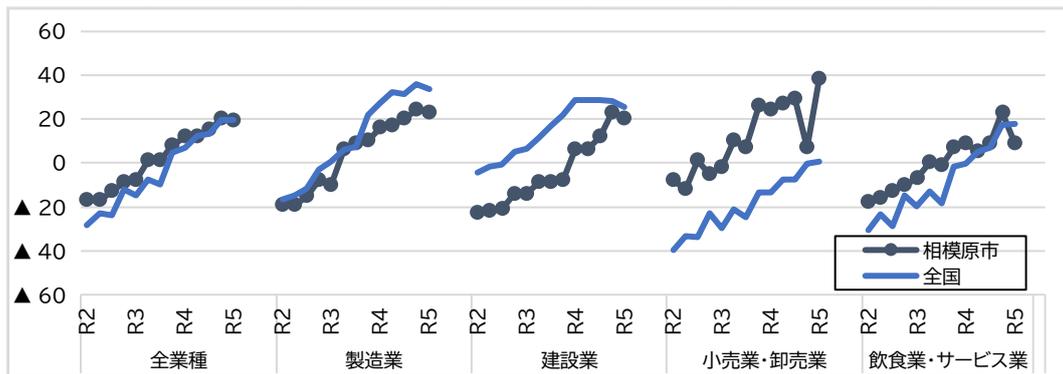


販売単価DIの推移

販売単価DI(前年同期比)の推移

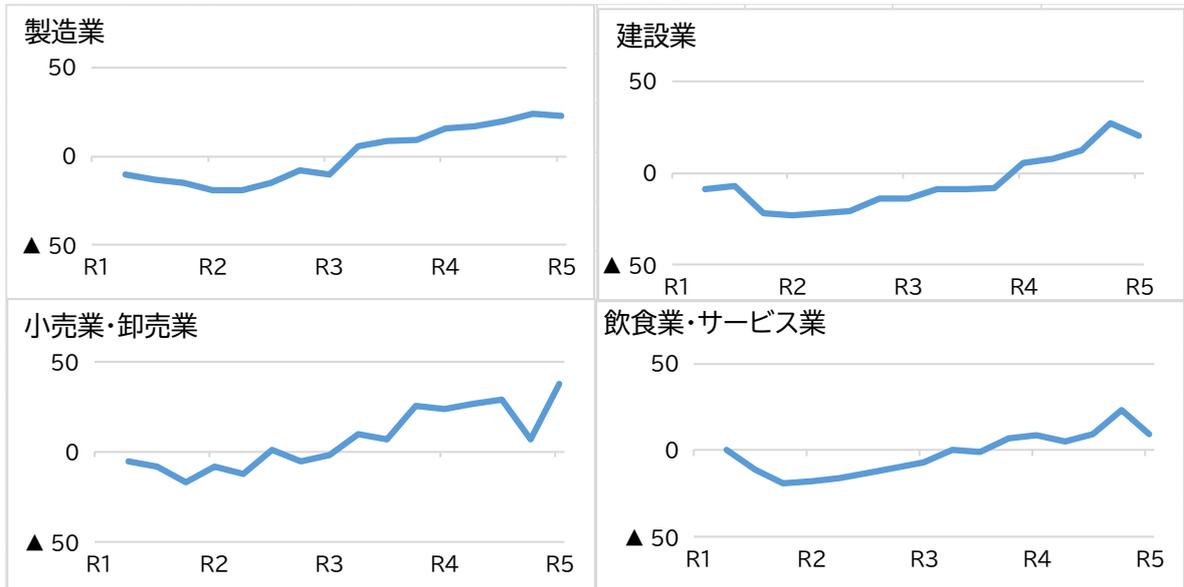
全産業の販売単価DIは、19(前期差1ポイント減)で、前期とほぼ変わらなかった。
 産業別にみると、小売業・卸売業が38で上昇傾向である。製造業は23、建設業は20、飲食業・サービス業が9となっており、前期までつづいた上昇がいったん止まった形である。
 全国値と比較すると、製造業と建設業は全国よりも低い水準が続く。小売業・卸売業は、全国よりもかなり高くなっている。

(令和2年7-9月期～令和5年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「販売単価・客単価DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※建設業については、全国値は日本商工会議所「早期景気観測商工会議所LOBO／建設業令和4年9月」分類の値を使用

参考) 販売単価DI(前年同期比)の長期推移(業種別)

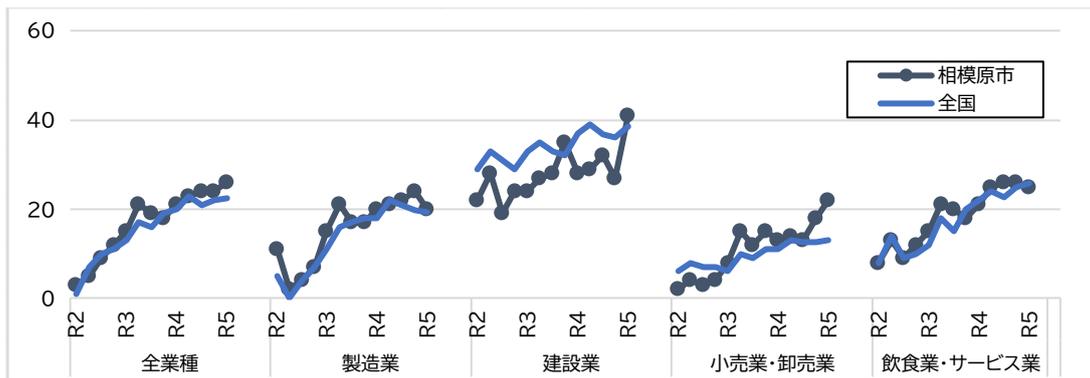


従業員DIの推移

従業員DI(前年同期比)の推移

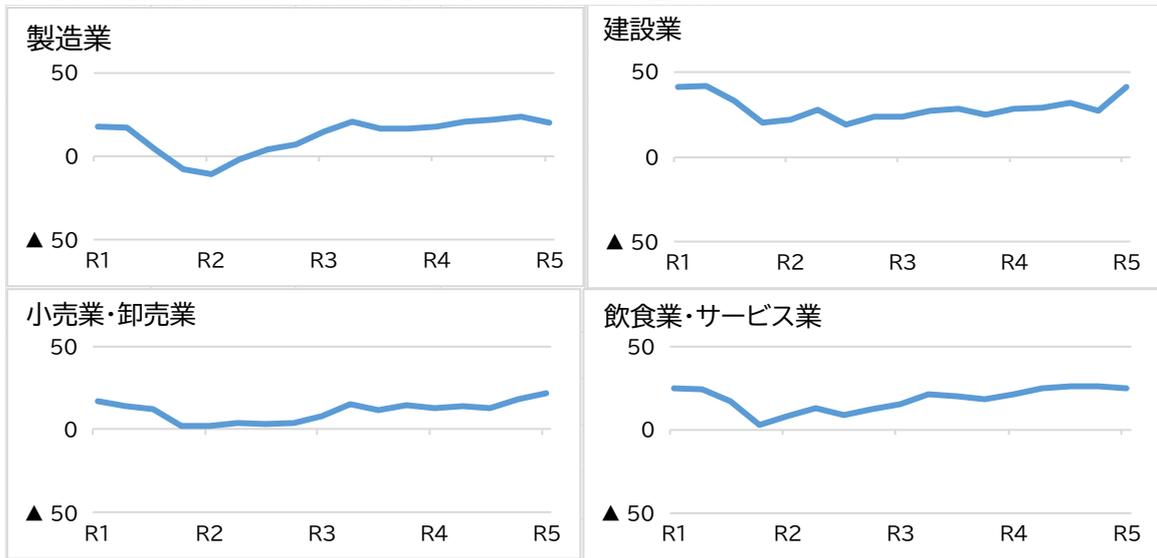
全産業の従業員DIは、26(前期差2ポイント増)で、前期とほぼ同じであった。
 産業別では、建設業は41、小売業・卸売業が22と人手不足が進んでいる。製造業が20と
 飲食業・サービス業は25で、前期並みであった。
 産業別に今期の数値を全国値と比較すると、小売・卸売業は全国より人手不足が進んでい
 る。

(令和2年7-9月期～令和5年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用、「従業員数過不足DI」を使用。
 ※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用
 ※従業員DIについて、当所では「前年同期比」、中小企業庁は「今期の水準(過去との比較ではない)」を調査
 ※従業員DIについて、当所では「DI=不足-過剰、中小企業庁は「過剰-不足」で算出。
 比較にあたっては、全国値の符号を反転させている。

参考) 従業員DI(前年同期比)の長期推移(業種別)



資金繰りDIの推移

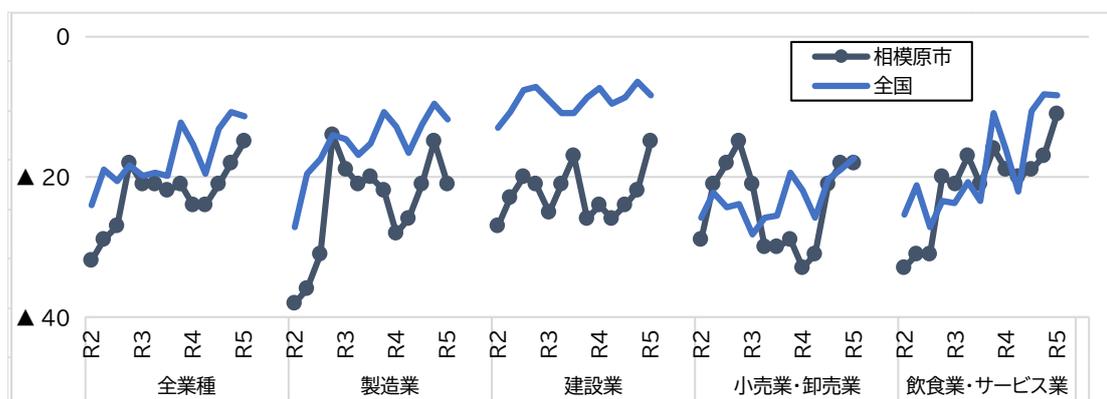
資金繰りDI(前年同期比)の推移

全産業の資金繰りDIは、▲15(前期差3ポイント増)で、前期とほぼ同じであった。

産業別にみると、建設業は▲15、飲食業・サービス業は▲11で、売上増加を受けて改善が進んだ。小売業・卸売業が▲18で前期と変わらなかった。製造業は▲21で資金繰りがやや悪化した。

産業別に当市の今期の数値を全国値と比較すると、製造業と建設業において全国よりやや悪い状況となっている。

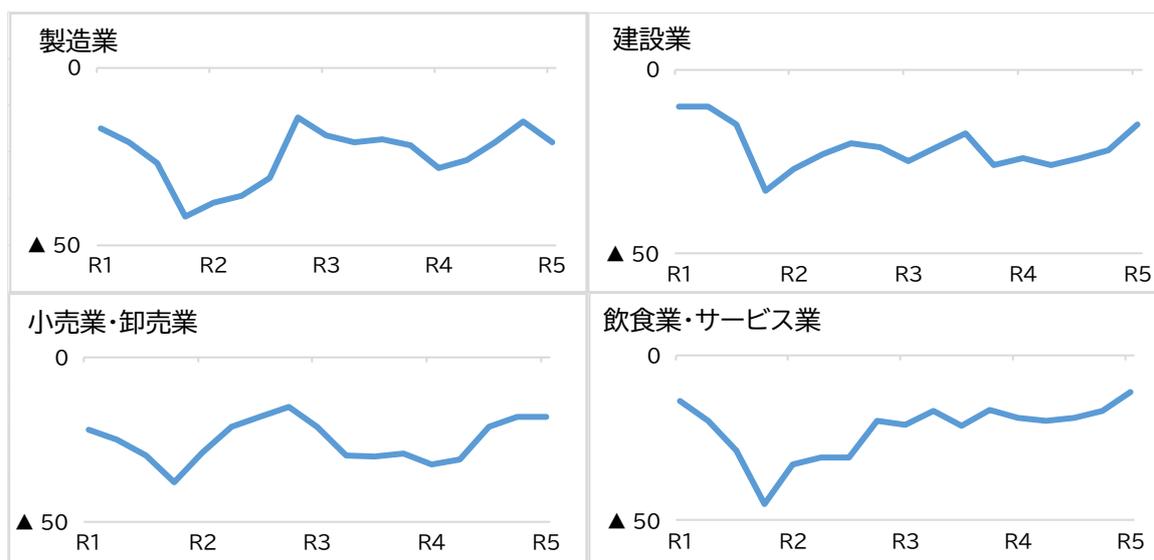
(令和2年7-9月期～令和5年7-9月期、前年同期比)



※全国値は、中小企業庁「中小企業景況調査報告書」より引用

※小売業・卸売業について全国値は「小売業」分類、飲食業・サービス業について全国値は「サービス業」の分類の値を使用

参考) 資金繰りDI(前年同期比)の長期推移(業種別)



集計表(景気観測調査)

| | | | 今期(R5.7~R5.9) | | | | 次期見通し(R5.10~R5.12) | | | |
|-----------|------|-------|--|-----|--|--------|--|-----|--|--------|
| | | | 売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足 | 不变 | 売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰 | 合計/DI値 | 売上:増加 採算:資金、総 合:好転 仕入:下落 販売:上昇 従業員:不足 | 不变 | 売上:減少 採算:資金、総 合:悪化 仕入:上昇 販売:下落 従業員:過剰 | 合計/DI値 |
| 製造業 | 売上 | サンプル数 | 57 | 57 | 65 | 179 | 47 | 84 | 48 | 179 |
| | | 構成比 | 32 | 32 | 36 | ▲4 | 26 | 47 | 27 | ▲1 |
| | 採算 | サンプル数 | 34 | 79 | 66 | 179 | 32 | 97 | 50 | 179 |
| | | 構成比 | 19 | 44 | 37 | ▲18 | 18 | 54 | 28 | ▲10 |
| | 仕入単価 | サンプル数 | 0 | 39 | 140 | 179 | 1 | 84 | 94 | 179 |
| | | 構成比 | 0 | 22 | 78 | ▲78 | 1 | 47 | 53 | ▲52 |
| | 販売単価 | サンプル数 | 53 | 115 | 11 | 179 | 35 | 133 | 11 | 179 |
| | | 構成比 | 30 | 64 | 6 | 23 | 20 | 74 | 6 | 13 |
| | 従業員 | サンプル数 | 43 | 129 | 7 | 179 | 38 | 133 | 8 | 179 |
| | | 構成比 | 24 | 72 | 4 | 20 | 21 | 74 | 4 | 17 |
| | 資金繰り | サンプル数 | 12 | 118 | 49 | 179 | 11 | 128 | 40 | 179 |
| | | 構成比 | 7 | 66 | 27 | ▲21 | 6 | 72 | 22 | ▲16 |
| | 業況 | サンプル数 | 30 | 80 | 69 | 179 | 32 | 98 | 49 | 179 |
| | | 構成比 | 17 | 45 | 39 | ▲22 | 18 | 55 | 27 | ▲9 |
| 建設業 | 売上 | サンプル数 | 32 | 47 | 33 | 112 | 27 | 59 | 26 | 112 |
| | | 構成比 | 29 | 42 | 29 | ▲1 | 24 | 53 | 23 | 1 |
| | 採算 | サンプル数 | 11 | 63 | 38 | 112 | 11 | 75 | 26 | 112 |
| | | 構成比 | 10 | 56 | 34 | ▲24 | 10 | 67 | 23 | ▲13 |
| | 仕入単価 | サンプル数 | 0 | 20 | 92 | 112 | 0 | 36 | 76 | 112 |
| | | 構成比 | 0 | 18 | 82 | ▲82 | 0 | 32 | 68 | ▲68 |
| | 販売単価 | サンプル数 | 34 | 66 | 12 | 112 | 23 | 78 | 11 | 112 |
| | | 構成比 | 30 | 59 | 11 | 20 | 21 | 70 | 10 | 11 |
| | 従業員 | サンプル数 | 48 | 62 | 2 | 112 | 45 | 65 | 2 | 112 |
| | | 構成比 | 43 | 55 | 2 | 41 | 40 | 58 | 2 | 38 |
| | 資金繰り | サンプル数 | 5 | 85 | 22 | 112 | 4 | 89 | 19 | 112 |
| | | 構成比 | 4 | 76 | 20 | ▲15 | 4 | 79 | 17 | ▲13 |
| | 業況 | サンプル数 | 12 | 67 | 33 | 112 | 10 | 75 | 27 | 112 |
| | | 構成比 | 11 | 60 | 29 | ▲19 | 9 | 67 | 24 | ▲15 |
| 小売業・卸売業 | 売上 | サンプル数 | 32 | 31 | 34 | 97 | 22 | 42 | 33 | 97 |
| | | 構成比 | 33 | 32 | 35 | ▲2 | 23 | 43 | 34 | ▲11 |
| | 採算 | サンプル数 | 15 | 45 | 37 | 97 | 10 | 54 | 33 | 97 |
| | | 構成比 | 15 | 46 | 38 | ▲23 | 10 | 56 | 34 | ▲24 |
| | 仕入単価 | サンプル数 | 2 | 13 | 82 | 97 | 2 | 27 | 68 | 97 |
| | | 構成比 | 2 | 13 | 85 | ▲82 | 2 | 28 | 70 | ▲68 |
| | 販売単価 | サンプル数 | 44 | 46 | 7 | 97 | 38 | 51 | 8 | 97 |
| | | 構成比 | 45 | 47 | 7 | 38 | 39 | 53 | 8 | 31 |
| | 従業員 | サンプル数 | 22 | 74 | 1 | 97 | 22 | 75 | 0 | 97 |
| | | 構成比 | 23 | 76 | 1 | 22 | 23 | 77 | 0 | 23 |
| | 資金繰り | サンプル数 | 7 | 66 | 24 | 97 | 6 | 66 | 25 | 97 |
| | | 構成比 | 7 | 68 | 25 | ▲18 | 6 | 68 | 26 | ▲20 |
| | 業況 | サンプル数 | 13 | 53 | 31 | 97 | 9 | 57 | 31 | 97 |
| | | 構成比 | 13 | 55 | 32 | ▲19 | 9 | 59 | 32 | ▲23 |
| 飲食業・サービス業 | 売上 | サンプル数 | 82 | 131 | 66 | 279 | 80 | 144 | 55 | 279 |
| | | 構成比 | 29 | 47 | 24 | 6 | 29 | 52 | 20 | 9 |
| | 採算 | サンプル数 | 41 | 161 | 77 | 279 | 54 | 165 | 60 | 279 |
| | | 構成比 | 15 | 58 | 28 | ▲13 | 19 | 59 | 22 | ▲2 |
| | 仕入単価 | サンプル数 | 2 | 122 | 155 | 279 | 3 | 148 | 128 | 279 |
| | | 構成比 | 1 | 44 | 56 | ▲55 | 1 | 53 | 46 | ▲45 |
| | 販売単価 | サンプル数 | 48 | 209 | 22 | 279 | 43 | 221 | 15 | 279 |
| | | 構成比 | 17 | 75 | 8 | 9 | 15 | 79 | 5 | 10 |
| | 従業員 | サンプル数 | 77 | 196 | 6 | 279 | 73 | 204 | 2 | 279 |
| | | 構成比 | 28 | 70 | 2 | 25 | 26 | 73 | 1 | 25 |
| | 資金繰り | サンプル数 | 14 | 221 | 44 | 279 | 20 | 223 | 36 | 279 |
| | | 構成比 | 5 | 79 | 16 | ▲11 | 7 | 80 | 13 | ▲6 |
| | 業況 | サンプル数 | 37 | 173 | 69 | 279 | 42 | 177 | 60 | 279 |
| | | 構成比 | 13 | 62 | 25 | ▲11 | 15 | 63 | 22 | ▲6 |
| 全業種総合 | 売上 | サンプル数 | 203 | 266 | 198 | 667 | 176 | 329 | 162 | 667 |
| | | 構成比 | 30 | 40 | 30 | 1 | 26 | 49 | 24 | 2 |
| | 採算 | サンプル数 | 101 | 348 | 218 | 667 | 107 | 391 | 169 | 667 |
| | | 構成比 | 15 | 52 | 33 | ▲18 | 16 | 59 | 25 | ▲9 |
| | 仕入単価 | サンプル数 | 4 | 194 | 469 | 667 | 6 | 295 | 366 | 667 |
| | | 構成比 | 1 | 29 | 70 | ▲70 | 1 | 44 | 55 | ▲54 |
| | 販売単価 | サンプル数 | 179 | 436 | 52 | 667 | 139 | 483 | 45 | 667 |
| | | 構成比 | 27 | 65 | 8 | 19 | 21 | 72 | 7 | 14 |
| | 従業員 | サンプル数 | 190 | 461 | 16 | 667 | 178 | 477 | 12 | 667 |
| | | 構成比 | 28 | 69 | 2 | 26 | 27 | 72 | 2 | 25 |
| | 資金繰り | サンプル数 | 38 | 490 | 139 | 667 | 41 | 506 | 120 | 667 |
| | | 構成比 | 6 | 73 | 21 | ▲15 | 6 | 76 | 18 | ▲12 |
| | 業況 | サンプル数 | 92 | 373 | 202 | 667 | 93 | 407 | 167 | 667 |
| | | 構成比 | 14 | 56 | 30 | ▲16 | 14 | 61 | 25 | ▲11 |

集計表(トピックス)

| 製造業 |
|---|
| リピートの期間が長い。ロット数が減少。円高で輸入が厳しい。【不織布製品、バッグ、巾着袋、医療用品(マスク)等、オーガジー巾着、スエード調ポーチ、食品包材、ファッション資材、教材用品】 |
| 10月よりの最低賃金の上昇(当社7月給与にて対応済)。【金属表面処理加工業(アルマイト加工・フープ金めっき処理)】 |
| DX推進・BCM構築・ISO取得・最低賃金の上昇など経費が高む状況であるにもかかわらず、受注の回復が大幅に遅れている点。【電池部品】 |
| これからの10年をどうするか。【工場内各種設備の設計製作、改修、メンテナンス】 |
| コロナ禍ピーク時に比べ売上増加。増益に推移仕入単価の上昇。受注単価の下落の差が著しい。内部留保の潤沢か否かによって、今後の中小企業の浮き沈みが明確化され二極化が進む。【輸送用機器製造】 |
| コロナ規制も無くなり個人客が戻りはじめました。さらに神奈川payも始まり、予約も好調。しかしながらお客様の単価は低いまま。材料、エネルギーコストの上昇が厳しい。神奈川payの入金が二ヶ月もかかるので、資金繰りが大変。【畳製作】 |
| コロナ貸付返済が大変。【印刷業(卒業アルバム)】 |
| チャイナリスク。【角型紙管】 |
| とにかく燃料費が高い。その他、経費の高騰。【金属熱処理】 |
| トラックメーカーの不祥事、協業に左右されてしまう。【トラックシャーシ改造架装機装】 |
| マスク等が持続的賃金の上昇を声高に主張するのをやめてほしい。今期はやりますが、来期はお約束できません。【段ボール製造販売】 |
| 引き続き材料費、エネルギーの高騰に対する販売価格転嫁が課題。【産業用エンジン、発電用エンジン、発電セット、ターボチャージャ】 |
| 円安。【キャンピングカー製造販売】 |
| 円高による物価上昇で全て、先送りの状況。【発泡スチロール】 |
| 企業におけるパンフレットやポスター等の内製化。【編集・デザイン・印刷】 |
| 景気が良くなると感じられず、従業員の給料もアップ出来ない状況。政府が賃金を上げる様なこと言っているけど、上げれる要素がない。【コンベアー設計、製作、取り付け、工場総合設備、製缶、タンク製作】 |
| 景気が良くなる見込みはあるが、人員が足りない。【産業用途向け通信機器企画、開発、製造、販売】 |
| 景気先行不透明。仕入れの上昇。【光学ガラス部品加工】 |
| 原材料の高騰。【部品加工、治具設計、製作】 |
| 原料価格の大幅な上昇、値上げを受け入れなければ供給しないと宣言されている実情があり、価格転嫁にも限界がある状況。【樹脂チューブ製造及び販売】 |
| 現在の円安は円安メリットもあるが円安によるデメリットの方が大きい、1ドル110円前後が適切な範囲と思います。【無線機器、オーディオ機器、カラオケ機器、設計、開発、生産(委託)、販売】 |
| 顧客の購買判断が遅い。【製缶、板金】 |
| 国際情勢等外部要因の影響が大きいこと(電気代、ガス代増加)。【精密プレス板金加工】 |
| 今期は受注が増して業績は上って来ていますが、資金繰りが難しくなっています。資金が廻り始めると良いですが…。【製造業】 |
| 在庫調整が一進し、受注増が期待される。【プリント基板】 |
| 材料、電力等全て値上りしているが、価格に転嫁できていない。【プラスチック加工】 |
| 材料と値上げと部品の欠品。【制御盤の製作、ケーブル加工】 |
| 材料価格・電力料金等諸経費の高騰。【電力機器、配電機器、免振・制振・制音デバイス】 |
| 材料費・加工費高騰、部材不足、部材納期長期化。【産業用自動機の開発・製造・販売】 |
| 材料費、人件費の高騰。【エンボステーピングサービス】 |
| 三次外注費の高騰。【精密板金加工】 |
| 仕事量の減少。【自動車試作車両製作】 |
| 仕入れ価格の上昇。【畳】 |
| 物価上昇しているが人件費はそのままなので値減りしているような感覚です。【制御盤製作、機械付帯電気配線】 |
| 仕入れ部品の価格の上昇。【電子機器の設計製造販売】 |
| 仕入原材料の更なる値上げ、昨年に続き3回以上。【銘板類、シール・ラベル】 |
| 仕入単価の上昇。【印刷】 |

| |
|---|
| 仕入単価の上昇。【電磁弁、電動弁の製造】 |
| 仕入単価は、上昇しているが、受注販売価格がほとんど上がらない。苦戦。【金属焼付塗装】 |
| 自動車関連は少し回復を感じるが、半導体関連を中心に受注回復時期が不透明。【プリント基板穴あけ加工】 |
| 若年層の人手不足。【金属製品塗装業】 |
| 取引先からの購入価格が上昇の一途となっている。【雷対策】 |
| 受注が増加傾向で、製造が追いつかないため製造能力向上に努めている。設備投資、人員の確保を目指している。【断熱カバーの製造販売取付工事】 |
| 受注の減少が著しい。【サーボンプの製造販売】 |
| 受注件数の確保とスムーズな運用をどうするか？付加価値の高い受注、資金繰りの円滑化、作業者の能力向上。【生産設備の自動化機械の設計製作据え付け工事】 |
| 受注減。【ワイヤーハーネス製造】 |
| 受注減が非常に大きく反映してきている。【光通信機器周辺部品製造販売】 |
| 受注状況は更に悪化すると見込む。【金属・樹脂の部品加工】 |
| 受注増加傾向にあるものの受注案件により、人が不足気味である。【精密機械装置製造】 |
| 従業員の募集ができないこと、販路拡大策が枯渇している、環境による影響をプラスにとらえられているものの売り上げに反映される要素が少ない。【角型紙管シリカゲル】 |
| 新卒の従業員の採用の困難さ。【臨床検査薬の開発、製造、販売】 |
| 新卒採用が非常に厳しい。【マグネチックバルブ、グロープラグ、燃料ポンプ】 |
| 人員不足は否めない。大型、大量受注を受けられない。分割して受注しているのが現況。【工業製品塗装】 |
| 人材雇用の問題。現状不足であり、新規受注への対応が困難。【製造業】 |
| 世の中の景気がマスメディアで言われている以上に悪い。【電子回路基板設計製造販売】 |
| 世の中全体ではコロナ禍前に戻ったと思いますが、未だ厳しい状況です。【加工部品、治工具試作、精密部品】 |
| 世の中全体としてはコロナ禍も既に過去となっているが、下請け製造業、特に非量産の仕事は全く動いていない。【単品・小ロットの加工部品、治工具・試作・精密部品】 |
| 製造製品の流通が減少し、発注数が低迷している。【金属加工】 |
| 先の仕事が見えない。【金属加工部品】 |
| 先行きの不透明感。【金属・樹脂部品切削加工】 |
| 全体としては昨年度より上振れる状況で推移している。秋には一時的に業績が停滞するフォーキャストが出ている。【ふっ素樹脂チューブの製造販売】 |
| 対昨年比較で売上げが減少している。顧客の新製品立上に遅延がでているなどの影響が大きく響いている。また大手材料メーカーの品番統合や生産終了などで材料入手も困難になっている。【粘着製品の企画、加工、販売】 |
| 短期的には市場の変化は少ない。しかしながら中期的には新しいサービスの立ち上げが必要。【プラズマ表面処理の受託加工サービス】 |
| 中国の景気動向の影響を色濃く受けている。【伸銅品製造】 |
| 中国景気減退の影響が売上不振となっている。必要な人材の採用がなかなか進まない。【パッシブ除振台・アクティブ除振台・防振装置・各種防振ゴム・制振材・吸音材・除振工事・防振工事・制振工事・除振コンサルタント・振動測定及び解析】 |
| 長納期品の仕入れがネック。【プレス機械製造販売】 |
| 電気代、ガソリン等の高騰により、材料費や表面処理の値上りがキツイ。【製造業】 |
| 電気部品不足が改善されず、受注に影響大。早急な対策を望む。三菱電機、オムロン、富士電機等、対策しているように見えない。納期回答が1年以上あるのがざらである。これでは業務できない。【超音波洗浄装置設計製造販売】 |
| 電子部品、電機部品関連の納期の改善が芳しくなく売り上げまでの期間の短縮ができない。【高速モータの製造販売】 |
| 電子部品の入手難は一段落する傾向にあるが、未だ通常状態とは言えない。円安リスクが大。【電子応用装置設計・製造、防犯機器販売】 |
| 電子部品長納期化。【電子回路基板設計・製造】 |
| 塗料や梱包資材の値上げによるコスト高。【工業塗装】 |
| 半導体の影響が非常に大きくて問題である。【プラスチック押出成形用引取機切断機の製造・修理】 |

| |
|---|
| 売上についてはコロナ前に回復しているがそれ以上にはなっていない(販売単価は多少UPしているにもかかわらず)。価格交渉は進めているが全てが達成できていくわけではなく、限界値になりつつある。一方で当社は輸入サイドなので円安影響がダイレクトに仕入れに響く。人手不足という面では、当社は小規模な企業だが従来並みの時給提示ではなかなか臨時雇いの人員調達が難しくなっている。【空圧制御バルブ及びその他の空圧機器の製造販売】 |
| 半導体関連の受注減。【金属製品製造】 |
| 繁忙期の集客集中による人手不足や業務過多など、繁忙の差による不安定感が増している状況に懸念している。【自家製餃子の製造及び販売】 |
| 変化しすぎるため対策効果を測定しづらい、コロナ禍から回復するも、中国経済の悪化にともなう売上減少の影響。社内では、材料・労務費の高騰、最低賃金の高騰。【角型紙管、紙製アングル、シリカゲル】 |
| 慢性的な人員不足が続いている。製造コストの増加に対して価格転嫁ができていない。【医薬部外品、化粧品、医療器具の製造】 |
| 民間企業の設備投資の先行きが不透明。動きはあるが実施時期のズレ込みや見直しなどが下期に行われるどうか注視している。【省力装置・溶接治具などの設計製作】 |
| 来年以降の受発注見通しが不透明。【建設機械、自動車等の電気機械器具製造】 |

| 建設業 |
|---|
| 材料費代等の値段が上がってきていて収益が減ってきている。工事費の値引き要請がある時が増えてきた。【飲食店の厨房機器入替や板金修理】 |
| 社内リソース不足および協力会社の繁忙状態により、受注時期・受注条件への影響が続くものと考えられる。仕入単価上昇の高止まりにより、発注者との追加価格交渉が継続するものと思われる。【土木、建設工事請負業・不動産事業】 |
| インボイスの対応。【建具工事業】 |
| クリニックの顧客において、工事進行中、要望に従い仕様変更(良いものに変更)したが、精算時に追加・増額を認めない顧客が2件続いた。昨年と比べ少し建築全般が落ち着いた感もあり、建築優位から顧客優位な状況に変わりつつある。【クリーンルーム、居宅介護支援】 |
| ネットとの比較で困る。【リフォーム】 |
| 引き合い多く動き出した感。ただ、建設業全体で人員が足りておらず、他社で受けきれない案件が回ってきている感じが強い。建設費は今後も高騰していくと感じる。【管工事業】 |
| 円安により仕入単価の上昇及び経費の上昇(ガソリン、交通費など)。【セキュリティの設置工事(カメラ・警備システム)】 |
| 下請業者の管理。【建築工事業】 |
| 景気は好転している。【通信設備工事】 |
| 現場数も増えてきたので、現場管理をまかせられる人材の確保。【電気工事】 |
| 雇用について思い切った増員がしにくい。【賃貸物件原状回復、リフォーム工事】 |
| 雇用状況等。【電気通信工業】 |
| 公共、民間共に工事は多くなっている。【電気設備工事】 |
| 公共工事において新興の競合業者が増加していると感じます。【給排水衛生設備工事、空調換気設備工事】 |
| 工場の稼働率と現場作業の稼働率の開きが顕著でバランスが非常に悪い状態です。工場の従業員は過不足のない状況ですが、現場作業の半数は不変だが、作業員数は減っている状況です。また、年々気温が上昇して作業が過酷になっていく傾向です。なり手がいない状況がさらに加速しているのではと思っています。【鉄筋工事業】 |
| 今後の人材不足。【監視カメラ周辺機器設計・製造・販売】 |
| 材料などが上がっている。【土木、建築、舗装、水道、とび・土工、解体、造園、鋼構造物】 |
| 材料単価の値上りが大きく過去経験のない程です。【土木工事】 |
| 材料費、処分費の上昇が薄利に響いているため、仕入金額をUPしていく必要がある。【エクステリアの工事、販売】 |
| 仕事量に対して人員が不足気味。【電気工事業】 |
| 仕入れ価格の上昇。【老人ホーム等福祉施設建設、不動産業】 |
| 仕入れ価格の上昇を販売価格への転嫁が出来るかが重要と考える。【外構工事業】 |
| 仕入単価の上昇。【住宅設備・空調・電気工事・外構】 |
| 若い子はすぐに辞める。【建設業】 |

| |
|--|
| 受注の減少。【建築塗装、リフォーム】 |
| 受注価格が上がらない。【電気工事業】 |
| 受注工事については順調に推移している。作業員の不足で工事自体を辞退している事も多々ある状況です。人手が欲しい状況ですが、なり手がいない状況です。【鉄筋工事業】 |
| 受注率の低下、収益率の低下。【建物解体】 |
| 受発注は概ね増加傾向だが、従業員不足による売上の頭打ち、仕事はあるが人がいないが続く状況。【解体工事業】 |
| 従業員の不足、協力会社の繁忙などが合わさって、仕事の依頼がきても、お断りするケースが多い状態です。【総合建設業およびこれに関連する業務】 |
| 半期は公共工事及び民間工事の受注は確保しているが、下半期以降の受注が減少すると推測される。物価高の影響もあり設備投資の増加が見込まれない。【土木・建築の施工業】 |
| 職人不足、大工不足。【建設業】 |
| 新卒採用が出来ない。【空調設備工事】 |
| 人員が確保できていない。【測量、大工工事業】 |
| 人員不足、担い手の減少。【塗装工事業】 |
| 人件費の単価が上がって来ない。【建設業】 |
| 人件費の販売価格への反映が厳しい。【冷凍、冷蔵設備工事、冷凍機、冷却機器販売】 |
| 人手不足、働き方改革が厳しい。【工場、住宅、リフォーム、事務所、施設など】 |
| 人手不足による業務の停滞、人件費高騰。【屋外広告(看板)製作・施工】 |
| 単価が上がらない。【内装工事】 |
| 追加工事、増工事が認められないケースが多くを占めた。【建設業、居宅介護支援】 |
| 売上げ低下による利益率の低下を感じざるを得ない。【電気工事業】 |
| 発注者の節約に対する意識が高まっている。【建築工事(マンション・ビル・戸建て修繕)】 |
| 半導体不足からメーカーで製品の出荷が遅れていて、受注はあっても施工出来ず売りに上げにできない。【ポンプ、送風機のメンテナンス】 |
| 物価上昇、残業時間問題。【造園・土木】 |
| 物価上昇、人員不足(従業員、協力会社職員)解消の見通しが立たない状況で、新規契約を伸ばすことができない。【総合建設業およびこれに関連する業務】 |
| 物価上昇スピードが速すぎて対策が間に合わない。【道路工事】 |
| 物価上昇により、ライバル会社等の受注の激化！！【建設業】 |
| 民間工事の減少が懸念される。公共工事については落札単価の低下も懸念される。人件費高騰。【管工事、電気工事】 |
| 労務単価も上昇しており、業務自体も増加している傾向。【電気工事業】 |

| |
|---|
| 小売業・卸売業 |
| 8月以降の注残が例年と比較して少ない。仕入価格の上昇が止まらず、利益率の低下につながっている。【空気圧機器卸売業(一部製造)】 |
| LPガス、灯油の仕入れが、安定しない。【LPガス、灯油販売、リフォーム】 |
| Web販売全般において、先だっでのコロナによる一時的な売上増(巣ごもり特需)は落ち着いてきた傾向にある。従来までの売上ベースに近づいている感じです。【健康食品の小売、卸売、主な商品名(玉葱皮茶など)】 |
| イベント関係が復活して、受注は増えた。仕入れ値、電気代等の諸経費の値上げが今後の利益に影響を及ぼす。【生花、鉢花、肥料、種苗、園芸用品全般】 |
| コストプッシュの影響から光熱費上昇、また、需要の先行きが不透明。【地方卸売市場(青果)の運営】 |
| この1年売上げの上下変動が激しく安定しないため苦しい状況が続いています。【楽器用アンプ類の修理と販売】 |
| コロナによる諸々の規制が緩和されたが、来客数は昨年以下。ネット販売に客足を取られているため回復がなかなか見込めない。お客様がネットで最低価格を調べられる時代なので仕入価格が上がっても販売価格に転嫁しにくく、利益を確保出来ない。この状況は今後も変わらないと思われる。【IT機器、オフィス家具】 |
| スタッフ不足。【小売業】 |

| |
|---|
| コロナの終息が見えてきたものの、世間では値上げが進み、個人消費が上向かない傾向。補助金でなんとかやってきたが、売り上げが上がらないと固定費負担がキツくなってくる。【下着、化粧品、健康食品】 |
| コロナの影響が未だに継続。材料入手困難。海外での物づくり依然として悪化。【光学レンズ(工業用機器、医療機器用)輸出】 |
| 為替動向。【輸入食肉】 |
| 外食企業に活気があまり戻っていない。【輸入食肉】 |
| 客先の機種により大きく生産計画が異なり、先行きの見通しが難しい。欧州、中国の景気が鈍化傾向。【工業用ゴム、樹脂、金属部品の卸、販売】 |
| 原材料の仕入単価の異常な高騰。【介護用食品の開発&販売】 |
| 雇用、派遣、アルバイト、パートの人件費の上昇。【九州特産物の販売】 |
| 高額な絵画が売れている。【美術品の売買】 |
| 今期業績は良好だったが、6月ころから業界全体の動きが止まった。これは弊社販売先である海外(東南アジア)景気が良くないことが原因。【建設機械、トラックの販売】 |
| 仕入単価の上昇により、販売単価も上げざるをえない。それによる売上の不振。【靴】 |
| 仕入単価の上昇による利益率の減少およびインボイス導入による混乱が予想される。【物産品販売】 |
| 仕入単価上昇による販売単価上昇の危惧、およびインボイス制度施行による消費税の実質上の上昇。【地元特産品】 |
| 止まらない材料原価の上昇と、賃上げ圧力が不安材料です。企業が適正と考える価格転嫁が、消費者に受け入れられるか思案中です。【米菓製造販売業】 |
| 自分の営業がほとんどしてない。その結果が悪化につながっているが今は長いスタンスで地盤固めをしているので、世間のせいとかではなく自分のせい。【リドンブランドの販売(高級革を使った靴ベラとりボン)占い(手相。タロット)、絵本の読み聞かせ教室など】 |
| 若手の人材不足が急務。【環境リサイクル機械の販売・レンタル】 |
| 諸物価高騰の影響で消費者の購買力低下。【メガネ・コンタクトレンズ・補聴器の販売】 |
| 慎重。【酒たばこ飲料】 |
| 新築物件の減少。【管工機材及び住宅設備機器】 |
| 人材不足。【フォークリフト販売等】 |
| 生活用品の値上げ等によりコロナが明けても生活費が増加しているので無駄使いをしない傾向にあるように思います。飲食店等もコロナ前には戻っていないように感じます。【食肉全般】 |
| 全体的に何事においてもスピード感が低下している。【省庁向け資材・器材の企画開発・販売、インターネットショッピングモール内店舗運営】 |
| 東南アジア景気低迷、通常なら円安から海外需要が増えるのだが、注文現象気味。【中古建設機械買取販売】 |
| 当局の経済政策が「大企業優先」中小零細店後回しでは〇〇委員会はどう見てるのでしょうか。1回は特に零細店は切り捨て政策でしょうか。【米穀、酒類、食品、菓子、雑貨、飲料品、赤飯調理パン、食パン菓子パン等々】 |
| 特需で売上増加にはなったが利益率ダウンが見込まれる。【金物】 |
| 燃料代(ガソリン代、配送費用)、電気代料金(エアコン消費)の上昇により経営悪化。経費の上昇。【小売業】 |
| 売り上げの見込みが少ない上に仕入単価の高騰により、利益が少なくなっている。にも関わらず、経費等削減の策を講じていないため、資金繰りが悪化していると感じる。【射出成形機及び周辺機器の卸売り販売、自動機金型の製造販売】 |
| 販売価格の上昇約80%値上げ、原価率も上昇、利益減少。【男子玩具、女子玩具、一部駄菓子】 |
| 販売単価の下落。【コンビニエンスストア】 |
| 物価高騰による原価上昇により、収益が下がっている為、クライアントが設備更新を足踏みしている。そのため当社にも発注が出ず、売上不振となってしまう状況。【業務用厨房機器販売、厨房用消耗品販売、業務用厨房機器設置】 |
| 物品の単価が値上りの幅が広い。利益率もきびしい。【小売業】 |
| 輸出が好調。【健康食品】 |
| 飲食業・サービス業 |
| 従業員が不足。【自動車整備飯金】 |
| ガソリンの高騰で厳しい。【不動産グループ会社のサポート】 |

| |
|--|
| 継続的な賃上げと事業利益の確保(黒字化)を両立するうえで、適正な価格転嫁の実現。機械化／自動化／DX施策を推進し、生産性向上により、高齢化・人手不足問題に対処。【総合不動産サービス事業、ビジネスサービス事業、フードサービス事業、物販サービス事業、健康サポート事業、介護サービス事業、トラベルサービス事業、子育て支援サービス事業、リゾートサービス事業、人材派遣サービス事業】 |
| 10月からの値上げラッシュ(電気、ガス、水道などインフラ、個人消費および、販売価格値上げにより低迷の危惧。【海鮮居酒屋】 |
| 10月より好転すると思います。【不動産売買】 |
| DXとは何ですか？ラーメン屋に使えるDXは何かご存じですか？【ラーメン専門店】 |
| インボイスで対策、帳簿の保存等で検討。【その他のサービス業】 |
| エネルギー高、円安の影響が大きく、海外旅行の回復が鈍い。【旅行業】 |
| ガソリン価格などの上昇、仕入れ価格の上昇に対する見通しが不透明。【グリーンレンタル】 |
| ゴルフ需要は旺盛で繁忙感が強まっているが、一方で天候不順の影響(台風・悪天予想)や人員不足(キャディ不足)で来場者数の増減に対応できていない部分があり、機会ロスが発生。収益見通しは計画対比で一進一退の状況が続いている。【会員制ゴルフクラブの運営】 |
| コロナあけて外の仕事が急増した。【撮影とWeb】 |
| コロナがおちつき、お客様、大型宴会増加。【中華レストラン】 |
| コロナが5類に分類され、外国や観光、祭りなどに出向かう人々が多い為売上が減少したと思われる。【焼肉、韓国料理】 |
| コロナの影響が収まりつつある。【警備請負】 |
| コロナの影響が少なくなり、企業様のお集まりが戻って来た。【飲食業】 |
| コロナ以前に戻りつつある感じがする。【鍼灸院】 |
| コロナ禍から、離職率が上がった。同じくらいに入社率も上がった。定まらない。【小包の配送】 |
| コロナ禍が収束しましたが、大きな変化はありません。【合気道道場】 |
| コロナ禍が明けたにもかかわらず、いまだ消費者の購買意欲が若干低迷しているような気がします。【不動産売買仲介、不動産賃貸仲介、買取再販】 |
| コロナ禍が明けてマインドは復調したが、客先動向がそこまで好転していないように感じる。【人材派遣業】 |
| コロナ禍で減少し来院患者数が元に戻らない、天候も読めず暑い日が続くため、老人離れが深刻です。【鍼灸院・接骨院業務】 |
| コロナ禍の時間差影響で、集客型店舗の閉鎖は依然止みません。よって関係取引業者の売上縮小は継続しています。【セキュリティ事業】 |
| コロナ禍の影響により行動がしづらいため営業が伸びない。【介護事業】 |
| コロナ後の状況に変化なし。事業継続補助金がなくなってしまい、苦しい。【ITシステム・ネットワークサポート】 |
| コロナ明けとは言われているが業種によってはそこまで戻ってきていない印象。【ビルの運営管理】 |
| サービスの宣伝、認知度を上げること。【経理、人事の業務代行サービス】 |
| 価格高騰。【ピアノ調律】 |
| 過去最高の販売先の不況。【産業廃棄物収集運搬】 |
| 学生の内定率が高く、採用に苦戦。【技術者派遣事業】 |
| 技術者が全体に高齢化。【理容】 |
| 協力業者(構造・設備(電気・給排水))値上り。【建築設計】 |
| 教育の不適合による、教育された人材の不足。【学習塾】 |
| 業界全体に高齢化の波が押し寄せていて、メーカーとサービス工場の整備士不足が深刻であり廃業する工場が増加している。【自動車整備業】 |
| 業界全体の人材不足。【旅行業】 |
| 金利動向による、住宅ローン金利の上昇懸念。【宅地開発企画販売、土地建物売買仲介、賃貸物件仲介・管理、資産活用不動産コンサルティング】 |
| 景気がよくなったと思いつつ、物価の上昇で節約する人が多くなり、回数が減少。【生活関連サービス業】 |
| 景気が崩れるのではないかと懸念が常にある。【不動産売買仲介】 |
| 景気の悪化。【許認可申請書類作成代行】 |
| 景気は良くない、物価高騰、仕事はあるが収益につながらない、資格者の雇用が難しい。【介護、福祉、医療】 |
| 原価高騰。【小学校、プリスクールの運営及び英語教育教室展開】 |

| |
|---|
| 原価高騰を現状の単価ではカバーできていない。【小学校、プリスクール、その他教育事業運営】 |
| 原材料費の増加。【生ジュース調理販売】 |
| 現況の派遣会社等に企業が絞っている（新規参入はお断り）が多く売り上げに繋がらない。【人材派遣、人材紹介】 |
| 現在の物価高が、賃料増につながり、個人消費、景気へと好循環な状況になれば良いが、物価高だけが進み、個人消費の低迷、景気悪化等の悪循環とならないか注視している。【不動産賃貸業】 |
| 固定費・変動費ともにランニングコストの上昇傾向が継続していること。【再生資源卸売業・廃棄物処理業】 |
| 雇用ができない。特に専門職。【訪問看護】 |
| 雇用を確保したい。【専門・技術サービス業】 |
| 雇用状況。【専門・技術サービス業】 |
| 顧客の増減が頻繁になってきている。【社会保険労務士業】 |
| 顧客維持、新規開拓まだまだやれる。【鍼灸整骨院】 |
| 好景気の材料が見つからない。【警備】 |
| 好調なところと不振なところとの二極化が進んでいるように感じます。販売価格、仕入価格共に上昇を容認する雰囲気があるように感じます。物価もまだ上がりそうなので、この流れに乗れないと厳しくなりそうです。【産業機械の設計製図】 |
| 好不況感。【専門・技術サービス業】 |
| 再度値上げをしたくても中々出来ない現状。【蕎麦屋】 |
| 最低賃金の上昇。【ビルメンテナンス業】 |
| 材料費・光熱費の高騰など。【美容一般（カット・パーマ・カラーなど）】 |
| 仕事は好転しているが相変わらず相模原の仕事がない。【コンサル、人財育成、人事部長代行】 |
| 仕入するものがほぼ高く、値上りしている。【コーヒー移動販売】 |
| 仕入れ価格の上昇、すべての物価の上昇、売り上げ不変、利益が出るわけがない。【自動車部品】 |
| 仕入単価2倍上昇。【中華料理】 |
| 仕入単価その他ガソリン、電気代等上昇してこまる。【観葉植物のレンタル業】 |
| 若年者の配属までの期間の長期化。【人材派遣】 |
| 取引先のコロナ融資返済開始により、資金繰り悪化が懸念される。【金融業】 |
| 取得した特許を利用していただくための講習会準備及びライセンス契約の締結準備のためコンサルタント業務の受注を止めているための売上高減少であり、経営上の問題は無い認識。【ITシステム開発コンサルタント】 |
| 受注は増える予想ですが、最低賃金や物価の値上りで固定費が上がり利益が出るか不安です。受注は増える予想ですが、一時的な物かもしれないので不安があります。【梱包】 |
| 受注依頼の減少。【産業廃棄物収集運搬】 |
| 従業員の不足。【クレーン車販売～整備】 |
| 従業員不足に伴い内需対応が困難なため外注対応しているが、その分コストが高くなり状況が芳しくない。【ビルメンテナンス】 |
| 従業員不足を補うため募集をかけているが、人材が集まらない。売り上げ、利益ともに安定していて経営的には一見良い状況に見えるが、実態は従業員の負担に支えられているだけであり、例えば現在再流行期に入っている新型コロナへの感染が従業員内で生じた場合、いっぺんに業務が回らなくなることが予想され、恐怖を感じている。また、冷房繁忙期のため例年好調になる7月の売り上げが今期は振るわず、不安を覚える。【空調・給排水機器、設備保守点検整備、電気工事、貯水槽清掃】 |
| 出来る事なら廃業したい。【一般貨物】 |
| 新規立上施設が徐々に利用者が増回し採算が良くなってきたがフロア面積の不足と人員不足が懸念される。【障害福祉サービス】 |
| 新型コロナウィルス解除に伴い、少しずつ、客足が戻って来ているが、全般的な物価高騰が続いている現状、先行きは、不透明な状況、ウクライナ、ロシア戦争の早期終了。【墓石清掃、墓石クリーニング、墓石コーティング、墓石メンテナンス、石造物特殊清掃、埋葬】 |
| 人がたりない。【グラフィックデザイン、Webデザイン、ブランド構築】 |
| 人件費のベースアップによる、経費の増加。入札で獲得した事業もあるが、今後の最低賃金の増加によって、収益の低下が見込まれる。【教育、動物の訓練】 |
| 人件費の値上り。【ビルメンテナンス】 |
| 人件費を含め諸経費の増加が販売価格にどこまで転嫁できるかが課題。【税理士業】 |

| |
|--|
| 人材不足。【鋼材・木材の配送】 |
| 人手不足。【運輸、配送】 |
| 政策、市況、社会情勢全て中小企業には逆風が吹いている。【高圧ガス、事務器】 |
| 先々が不透明で不安。【司法書士】 |
| 全体的に、輸出梱包の伸びはあるが、今後の日中の貿易摩擦が懸念される。【こん包業】 |
| 脱コロナで、営業環境も変化してきている。【経営コンサルタント】 |
| 中小企業の資金繰りの悪化を顕著に感じる。【弁護士】 |
| 調達コスト増、諸経費増、競争激化。【冠婚葬祭、介護、少額短期保険、冠婚葬祭互助会、霊園管理】 |
| 長期金利上昇に伴う調達金利の上昇で利益減少を危惧。【不動産買取再販・仲介・管理】 |
| 電気・ガス料金他諸物価高騰。生活保護利用者に対し、価格転嫁できない。【福祉施設運営】 |
| 電気、ガス、上下水道の上昇、ガソリン上昇が価格転嫁できない。仕入単価が急上昇。売上上昇で純利益は昨年より良いがコロナ前にもどらない。【居酒屋(アルコール飲料、料理他)】 |
| 電気代、エネルギー代の高騰。【その他のサービス業】 |
| 電気料金値上げ等による維持コストの上昇。【不動産管理】 |
| 電気量の増額による影響。【インキュベーションセンターの運営】 |
| 入札はしない本社のみ参加可とするのが望ましい。圏外本社がダミー形態の事務所を有す企業が極端な低単価で参加すると、適正価格での応札が難しく、収益の安定が図れない。指名入札→一般入札に変更した事も、影響大である。【ビル清掃、設備管理業】 |
| 燃料、電気他ランニングコストの上昇。【廃棄物処理業、資源廃棄物】 |
| 燃料代の増加、資機材単価値上げに伴い利益の減少。物価上昇に見合った従業員の賃上げが難しい。【高圧洗浄作業】 |
| 納税額の増加。【行政書士】 |
| 売りたいくてもモノがない。【写真プリントサービス】 |
| 売り上げ高増になりながら、仕入れ高の値上がりによって増益とならず、なおかつ固定費の増加により、わずかな値上げではとても補えないのが実情ですね。【酒類、つまみ、食事、カラオケ】 |
| 売上が思うようにあがらなかった。【産業廃棄物処理業(焼却)】 |
| 半導体不足による生産抑制は緩和の方向。電気・電子部品は汎用品も含め品不足・長納期が継続し売り上げ計画に狂い。原材料やエネルギー高騰の対応で、価格見直しは30%くらいしか進んでいなく、売上あっても赤字体質が続く。感染症流行の縮小で、車や建機関係は需要復帰傾向で、特に食品や厨房関連の製造業は売上上向き。【プレス機械の自動化・安全対策、並びに品質および環境マネジメントシステムの維持改善】 |
| 福利厚生制度の整備・充実。【設計受託・請負業務、労働者派遣事業、求職者支援訓練事業】 |
| 物価高。【動物病院、薬品、消耗品】 |
| 物価高により消費控える傾向が強まっている事を実感する。【整体、リラクゼーション業】 |
| 物価高騰による採算の悪化。【保育所運営】 |
| 物価上昇。人手不足。【不動産賃貸全般】 |
| 物価上昇による運営コストの増加への不安、人件費上昇への心配。【障害福祉サービス】 |
| 訪問介護での売上増加を図るためには、利用者に対応できるヘルパーの増員が樞です。この2年間、色々な手段を講じて募集活動をしていますが、全く増員ができていません。如何に現有人員で、上手く利用者を訪問できるかが大きな課題です。【訪問介護事業】 |
| 訪問診療の中心が若干個人宅へシフトしたため、患者の入れ替わりが多くなり手間が増えてきた。【訪問診療及び外来診療(大半は訪問診療)】 |
| 毎年の最賃値上げが価格転嫁に追い付かず、徐々に収益悪化傾向にある。今年も大幅な上昇が伝わってきており、採算割れする契約先の対応が優先課題となる。【清掃・警備・設備保守】 |
| 来店客の減少(高齢化等により)。【美容業】 |
| 来店客数の減少。【美容技術一般】 |

経営上の問題点

単純集計

経営上の問題点(3つまで回答可、n=667)

| | 回答割合 | |
|--------------|-------|-----|
| 売上不振 | 27.9% | 186 |
| 受注単価・販売価格の低下 | 8.2% | 55 |
| 収益率の低下 | 35.2% | 235 |
| 個人消費の低迷 | 10.3% | 69 |
| 販売先の減少 | 7.5% | 50 |
| 大型店の進出 | 0.6% | 4 |
| チェーン店等との競争激化 | 0.0% | 0 |
| 公共工事の減少 | 3.1% | 21 |
| 民間工事の減少 | 3.3% | 22 |
| 仕入単価の上昇 | 48.1% | 321 |
| 円安の影響 | 9.6% | 64 |
| 円高の影響 | 0.7% | 5 |
| 代金回収困難 | 1.6% | 11 |
| 諸経費の増加 | 26.5% | 177 |
| 従業員(含、臨時)が過剰 | 0.7% | 5 |
| 従業員(含、臨時)が不足 | 30.1% | 201 |
| 設備不足・老朽化 | 14.1% | 94 |
| 特になし | 6.4% | 43 |

製造業

今回調査を見ると、「円高の影響」「受注単価・販売価格の低下」が増加し、「従業員が不足」「収益率の低下」「仕入単価の上昇」「売上不振」「諸経費の増加」が減少している。依然としてコスト高が続き収益性が厳しい状況が続いているようである。

| | R4年7~9月 n=180 | R4年10~12月 n=240 | R5年1~3月 n=243 | R5年4~6月 n=156 | 今回調査 n=179 |
|--------------|------------------|--------------------|------------------|------------------|---------------|
| 売上不振 | 36.7% | 42.9% | 41.6% | 44.8% | 40.8% |
| 受注単価・販売価格の低下 | 13.3% | 12.5% | 13.2% | 6.7% | 9.5% |
| 収益率の低下 | 37.8% | 38.3% | 38.7% | 43.6% | 33.5% |
| 個人消費の低迷 | 1.7% | 2.1% | 2.9% | 31.5% | 2.2% |
| 販売先の減少 | 8.3% | 7.9% | 10.3% | 13.9% | 7.3% |
| 大型店の進出 | 0.0% | 0.4% | 0.0% | 5.5% | 0.0% |
| チェーン店等との競争激化 | 0.0% | 0.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 公共工事の減少 | 0.0% | 1.3% | 1.6% | 2.4% | 1.7% |
| 民間工事の減少 | 1.7% | 1.7% | 2.9% | 2.4% | 1.1% |
| 仕入単価の上昇 | 70.6% | 67.5% | 65.0% | 65.5% | 55.9% |
| 円安の影響 | 15.6% | 23.8% | 10.7% | 10.9% | 14.0% |
| 円高の影響 | 1.7% | 2.5% | 1.2% | 1.8% | 0.6% |
| 代金回収困難 | 0.0% | 0.0% | 0.4% | 1.8% | 0.0% |
| 諸経費の増加 | 21.7% | 23.8% | 29.2% | 43.6% | 26.3% |
| 従業員(含、臨時)が過剰 | 0.0% | 0.0% | 1.2% | 0.6% | 0.0% |
| 従業員(含、臨時)が不足 | 17.2% | 16.3% | 23.0% | 38.2% | 27.4% |
| 設備不足・老朽化 | 15.6% | 14.2% | 12.3% | 20.0% | 22.3% |
| 特になし | 2.2% | 3.3% | 2.9% | 10.3% | 1.1% |

経営上の問題点(業種別)

建設業

前期と比較して、「従業員が不足」「仕入単価の上昇」「公共工事の減少」「収益性の低下」が増加し、「売上不振」「諸経費の増加」「販売先の減少」「設備老朽化」が減少した。売上が回復しつつあり人手不足が深刻化しているようである。

| | R4年7~9月 n=124 | R4年10~12月 n=188 | R5年1~3月 n=141 | R5年4~6月 n=111 | 今回調査 n=112 |
|--------------|------------------|--------------------|------------------|------------------|---------------|
| 売上不振 | 28.2% | 34.0% | 21.3% | 40.5% | 20.5% |
| 受注単価・販売価格の低下 | 20.2% | 7.4% | 14.2% | 12.6% | 14.3% |
| 収益率の低下 | 39.5% | 21.3% | 34.8% | 38.7% | 41.1% |
| 個人消費の低迷 | 5.6% | 8.0% | 9.2% | 4.5% | 2.7% |
| 販売先の減少 | 6.5% | 5.9% | 4.3% | 11.7% | 4.5% |
| 大型店の進出 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.9% | 0.0% |
| チェーン店等との競争激化 | 0.8% | 0.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 公共工事の減少 | 9.7% | 5.3% | 14.9% | 1.8% | 9.8% |
| 民間工事の減少 | 17.7% | 4.3% | 17.7% | 9.0% | 10.7% |
| 仕入単価の上昇 | 68.5% | 24.5% | 63.8% | 52.3% | 58.0% |
| 円安の影響 | 4.8% | 5.9% | 5.7% | 2.7% | 5.4% |
| 円高の影響 | 0.0% | 0.0% | 2.8% | 0.0% | 0.9% |
| 代金回収困難 | 0.0% | 3.7% | 2.8% | 0.9% | 2.7% |
| 諸経費の増加 | 16.9% | 28.7% | 23.4% | 31.5% | 22.3% |
| 従業員（含、臨時）が過剰 | 0.0% | 1.6% | 0.0% | 4.5% | 0.0% |
| 従業員（含、臨時）が不足 | 25.0% | 30.9% | 31.2% | 34.2% | 46.4% |
| 設備不足・老朽化 | 2.4% | 10.6% | 2.8% | 16.2% | 6.3% |
| 特になし | 4.8% | 12.2% | 5.0% | 18.9% | 2.7% |

小売業・卸売業

「個人消費の低迷」が増加し、「売上不振」「収益性の低下」「仕入単価の上昇」「諸経費の増加」「従業員が不足」「設備不足、老朽化」が減少している。仕入や経費の値上がりは一段落し、売上も回復傾向にあるようである。

| | R4年7~9月 n=92 | R4年10~12月 n=166 | R5年1~3月 n=117 | R5年4~6月 n=105 | 今回調査 n=97 |
|--------------|-----------------|--------------------|------------------|------------------|--------------|
| 売上不振 | 34.8% | 22.9% | 41.0% | 48.6% | 32.0% |
| 受注単価・販売価格の低下 | 6.5% | 13.3% | 6.0% | 6.7% | 7.2% |
| 収益率の低下 | 39.1% | 26.5% | 26.5% | 41.9% | 36.1% |
| 個人消費の低迷 | 29.3% | 4.8% | 23.9% | 2.9% | 26.8% |
| 販売先の減少 | 10.9% | 6.0% | 16.2% | 11.4% | 11.3% |
| 大型店の進出 | 3.3% | 0.0% | 2.6% | 0.0% | 3.1% |
| チェーン店等との競争激化 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 公共工事の減少 | 3.3% | 8.4% | 1.7% | 1.9% | 1.0% |
| 民間工事の減少 | 0.0% | 16.3% | 2.6% | 2.9% | 3.1% |
| 仕入単価の上昇 | 64.1% | 50.6% | 57.3% | 67.6% | 50.5% |
| 円安の影響 | 20.7% | 6.0% | 16.2% | 6.7% | 12.4% |
| 円高の影響 | 0.0% | 1.2% | 6.0% | 1.0% | 2.1% |
| 代金回収困難 | 2.2% | 1.8% | 3.4% | 1.0% | 3.1% |
| 諸経費の増加 | 26.1% | 15.7% | 27.4% | 38.1% | 18.6% |
| 従業員（含、臨時）が過剰 | 0.0% | 1.2% | 0.9% | 1.9% | 0.0% |
| 従業員（含、臨時）が不足 | 8.7% | 17.5% | 14.5% | 32.4% | 16.5% |
| 設備不足・老朽化 | 8.7% | 1.8% | 6.8% | 21.0% | 13.4% |
| 特になし | 2.2% | 3.0% | 4.3% | 2.9% | 3.1% |

経営上の問題点(業種別)

飲食業・サービス業

「売上不振」「収益率の低下」「個人消費の低迷」「販売先の減少」「円安の影響」「諸経費の増加」「従業員不足」「設備不足・老朽化」が増加し、「仕入単価の上昇」「受注単価・販売単価の低下」が減少した。売上は良くなってきているが収益性は回復しておらず、人手不足も続いているようである。

| | R4年4~6月 n=290 | R4年7~9月 n=408 | R5年1~3月 n=386 | R5年4~6月 n=265 | 今回調査 n=279 |
|--------------|------------------|------------------|------------------|------------------|---------------|
| 売上不振 | 33.8% | 35.9% | 33.9% | 18.5% | 21.1% |
| 受注単価・販売価格の低下 | 7.6% | 6.6% | 7.3% | 9.8% | 5.4% |
| 収益率の低下 | 28.6% | 32.3% | 29.5% | 21.5% | 33.7% |
| 個人消費の低迷 | 17.9% | 24.0% | 15.5% | 6.8% | 12.9% |
| 販売先の減少 | 7.6% | 10.5% | 8.8% | 4.9% | 7.5% |
| 大型店の進出 | 1.4% | 2.4% | 0.8% | 0.5% | 0.4% |
| チェーン店等との競争激化 | 0.3% | 1.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% |
| 公共工事の減少 | 2.8% | 5.4% | 2.3% | 3.9% | 2.2% |
| 民間工事の減少 | 1.4% | 3.2% | 2.3% | 6.3% | 1.8% |
| 仕入単価の上昇 | 35.2% | 51.8% | 40.9% | 35.6% | 38.4% |
| 円安の影響 | 10.0% | 15.2% | 8.3% | 5.9% | 7.5% |
| 円高の影響 | 1.0% | 1.2% | 0.8% | 1.0% | 0.4% |
| 代金回収困難 | 1.4% | 0.5% | 2.3% | 0.5% | 1.8% |
| 諸経費の増加 | 26.9% | 26.7% | 30.3% | 15.6% | 31.2% |
| 従業員（含、臨時）が過剰 | 1.0% | 0.7% | 1.0% | 0.0% | 1.8% |
| 従業員（含、臨時）が不足 | 24.5% | 22.7% | 30.1% | 16.6% | 30.1% |
| 設備不足・老朽化 | 11.7% | 10.3% | 11.1% | 3.9% | 12.2% |
| 特になし | 10.0% | 3.7% | 8.8% | 2.9% | 12.5% |